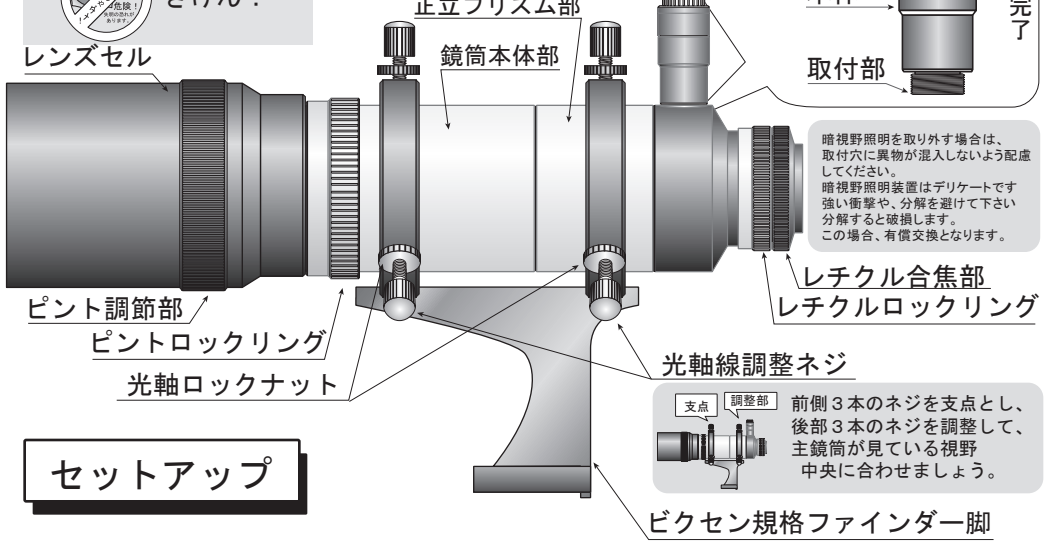
EF-601型正立ファインダー 取扱説明書

各部の名称

太陽の方に筒先を向けないで下さい。失明の危険があります。

暗視野照明装置の準備
上部のスイッチを回してもランプが点灯しない場合は、電池を交換してください。
適合電池はLR41×2個です。

本体とプリズム部は分解しないで下さい。異物混入や光軸ズレは有償修理となります



暗視野照明を取り外す場合は、取付穴に異物が混入しないよう配慮してください。
暗視野照明装置はデリケートです 強い衝撃や、分解を避けて下さい 分解すると破損します。
この場合、有償交換となります。

前側３本のネジを支点とし、後部３本のネジを調整して、主鏡筒が見ている視野 中央に合わせましょう。

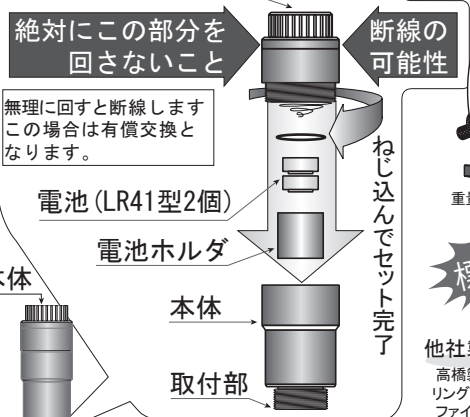
注意

スイッチ+輝度調整

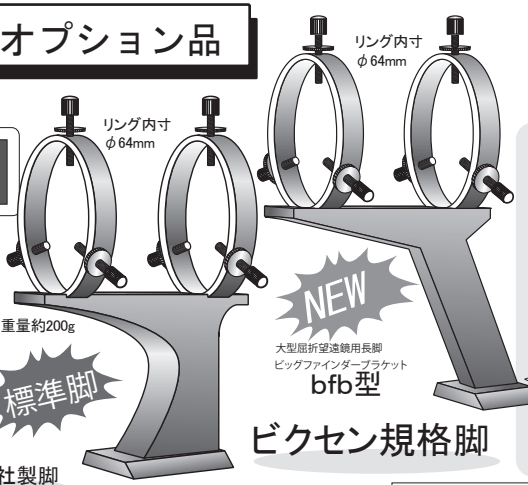
絶対にこの部分を回さないこと

断線の可能性

無理に回すと断線します この場合は有償交換となります。



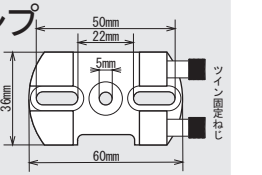
オプション品

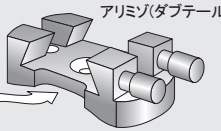


現在のビクセン社製のファインダー台座に対応します。
弊社CF,AL屈折望遠鏡などビクセン規格のファインダー台座に対応しています。
SYNTA/GS各社の一部製品に対応します。

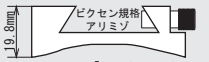
バーダープラネタリウム社製
スタンダードクランプ

左右の長丸穴は、無加工で各社シュミットカセグレンに対応します。オリジナル品と換装が容易です。
無垢のアルミ合金を削り出した成形加工品ですから、強度も十分。ファインダーをしっかりホールドします。





重量 約60g



マルチ「r」システム
外径100mm～1400mmまでのすべての鏡筒にフィットします。

鏡筒への取り付けには、M5キャップボルト以下を使います。中央の穴には同じく市販のM5の皿ねじが納まります。

他社製脚

高橋製作所,ボーグ,ペンタックス各社製のファインダー脚の場合、リング内寸がφ55mmよりも大きければ使用できます。
ファインダー直径は約φ55mmになっています。詳しくはお問い合わせください。

標準脚の鏡筒固定部(以下ブラケットと略)は頭頂部φ8mm以下／高さ4mm以下のキャップボルト等で固定して下さい。鏡筒についているボルトを利用するのが望ましいですが、交換する場合はブラケットにボルトの頭が埋まるものを用意して下さい。ちなみに中心取付幅はM5の場合27.5～41.0mmとなります。

システム仕様

システム仕様は予告なく改良/変更されます。本体の固定に関しては個人の責任において行って下さい。
本品は精密光学機器ですので、ごみ・ほこり・湿気・熱等にご配慮いただき、末長くご愛用下さい。

対物レンズ	マルチコート済アクロマート
有効口径	φ59.8mm
正立プリズム	ペンシャン型正立プリズム
接眼レンズ	マルチコート済ケルナー
アイレリーフ	18mm,(射出瞳径6mm)
倍率･視野	10倍、実視界5.6°,見掛視界56°
合焦方式	回転型ヘリコイド型
レチクル照明	暗視野照明装置

セル部/鏡筒外経	セル部最大φ69.3mm/鏡筒 φ55mm
鏡筒/標準脚重量	鏡筒600g/ビクセン規格標準脚200g
暗視野照明部経	φ12mm,高さ35mm(装着時)
照明装置電源仕様	LR41アルカリボタン電池2個
標準ファインダー脚	
ブラケット取付部 取付ネジ仕様	幅60×奥行36×高さ23mm(水平面より) M5クラスナベネジ推奨,取付中心幅28~41mm 取付部 穴経φ5.3,頭頂φ8.5ザグリ4.4mm

セットアップ

①ピントを合わせます。

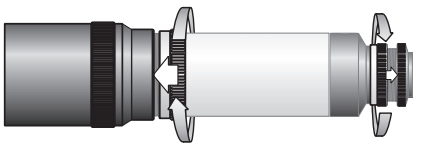
遠くの景色を視野に入れ、筒先のレンズセルを回して、景色にピントを合わせます。

最後に、ピントロックリングで固定しましょう。

ピントは2km以上遠方の対象物で合わせてください。
（星でのピントあわせを推奨します）

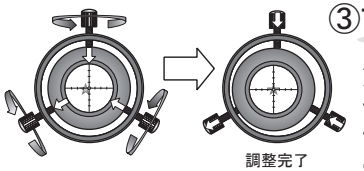
②レチクルのピントを合わせます。

レチクルがはっきり見えるように、合焦部を回転させます。



はっきり見える位置が決まれば、ロックリングで固定しておきましょう

③ファインダーの向き/方向を調節します。



望遠鏡で遠方の対象物(図中☆)を視野中央に導入し、その状態でファインダーのレチクル中心に対象物☆がくるように、3本の押し引きネジを調節します。
これで、望遠鏡とファインダーは同じ対象物☆をみています。

使用上の注意

お買い上げありがとうございます。ご利用にあたって疑問などありましたらご連絡下さい。
また、便利なアクセサリを多数ご用意していますので、お気軽にお問い合わせ下さい。
今後とも、国際光器製品を末長くご愛用下さい。

○太陽など強い光源に筒先を向けないでください。失明・火災の原因となります。
太陽観測などに利用される場合は、対物レンズの前に国際光器製アストロソーラー太陽フィルター等を装着し、安全の確保を最優先してください。

○分解・改造・改良は保証の対象外となります。不要な分解作業などは絶対におやめください。保証期間内でもすべて有償修理となります。

○対物側のレンズや接眼レンズ等の光学部の汚れは、ブロアもしくは光学レンズ専用のレンズクリーナ等をお使いください。ただし、分解清掃などは絶対におやめください。

○本体を清掃される場合は柔らかい布等で乾拭きをお勧めします。溶剤等の使用は本体表面の塗装を溶かし、著しく劣化させる場合がありますので、ご使用にならないでください。

○機器の使用の前には、各部の取付けおよび固定ネジをしっかりとしめてご使用ください。

Astronomical Telescopes & Astronomers Home
KYOTO, JAPAN
国際光器
KOKUSAI KOHKI
(KK Magellan)

KOKUSAI KOHKI 〒615-8215
株式会社マゼラン 天文機器事業部 国際光器 京都府 京都市 西京区 上大野町 7－7
Tel. 075-394-2625 Fax. 075-394-2612